

## こずっち会議@豊四季台地域（報告）

■日 時 令和元年11月16日（土）午前10時から12時

■場 所 豊四季台近隣センター 会議室A

■出席者 豊四季台地域ふるさと協議会 5名

豊四季台地域に住む若い世代 8名

### ■趣 旨

平成30年度に柏市と各地域のふるさと協議会で、地域課題の検討を行なう「地域懇談会」を行ないました。この懇談会の中では、高齢化が進み、子どもの取り巻く環境も変化している現在、地域はもっと若い世代との連携が必要であるとの意見が多くありました。

事前に学校の御協力により、豊四季台地域の小中学校の保護者へアンケートを行なったところ、日頃から地域のために活動をしている「ふるさと協議会」の認知度が低かったことも分かりました。また、ふるさと協議会も、若い世代の生の声を聞いてみたいとのことから、お互いを知り合うことを目的にまずは、「子どもが住みよい地域にするには」をテーマに、意見交換を行なったものです。

## こずっち会議（豊四季台）報告書

### Aグループ



#### ■ 主な意見

##### ふるさと協議会の意見

- ・子どもの人数などの情報が入らない。
- ・どことどうやって情報を集めていくのか、が今後の課題。
- ・町会は民生委員や健康づくり推進員などと連携していない。
- ・親子会に入っている人数が、なんとか把握できるのみ。
- ・共働きの世帯が多いのか？
- ・「ふるさと協議会と個人のかかわり」ではないのか？
- ・お祭りで子ども用のイベントを行った。社会福祉協議会や健康づくり推進と連携すれば、もっと沢山のゲームをやれたのに。
- ・「ふるさと協議会」の名前は知っていても、自分も来たとき活動の中身を知らなかった。
- ・参加している人、無関心の人があり、無関心の人にどう働きかければよいかわからない。
- ・サルビアでは子供が5人しかいない。みんな大きくなった。（高田など遠くの学区へ）
- ・組織が大きすぎる。（ふるさと協議会、学校 etc）
- ・自分自身、学校には顔を出してきた。地域には出してこなかった。ご夫婦で来てくれてうれしい。
- ・どう声を掛ければ、夫婦で来てもらえるか？
- ・個人的な関わりはあるが、組織としてはない。（エレベーター内で子どもと挨拶。うれしい）
- ・若い人に声をかけるとお母さんは来る。お父さんはなかなか来てくれない。
- ・「参加」すると何かさせられるという恐怖！！これでみんな来ない。
- ・若い人たちが何を考えているのか、知り得ない。
- ・町会内の子どもの人数は把握しているが少ない。公園で遊んでもいない。子どもがいるのを見ると嬉しい。

##### 若い世代の意見

- ・きっかけになりそうな情報、コンテンツは掲示板だけでなく、ポストインなどがあると良い。その他、学校で配ってもらえると良い。
- ・参加→とまどい→打ち解け→顔見知り→何か一緒にできる。
- ・育休、産休は時間がある（3才以下の保護者）。若い人達の地域に入る時

期としてみては？

- ・民生委員は子どもが生まれると必ず接点がある。
- ・公園での遊びのルールは厳しい？（子どもが遊びにくい）
- ・意外と地域に関わりたいお母さんは多いと思う。きっかけづくりが重要。
- ・子連れでお仕事している。
- ・どこから子ども会の情報をもらうか？（入手ツールは掲示板）
- ・SNSにつかれた。リアルなところでも関係づくりをしているとも聞く。
- ・子育てのNPO法人にいる。子どもを連れてでも参加してくれることに意義をもつのが大事。
- ・豊四季台の小学生の人数，分布の数を町会は把握していない？
- ・お母さんは，子どもが3才以下の時，とてもストレスがたまる。この時に地域が関わってくれれば一番良い。
- ・明原ではコナンの映画を町会で観に行っていた。
- ・町会は小学校の時，夏祭り盆踊りの練習をしてくれたイメージ。
- ・1小と柏中の回収率の低さにびっくり…！
- ・お祭りの後片付けは女性より男性に出てほしいな。
- ・地域を取りまく半分行政の組織がありすぎて種類もわからない。
- ・地域など，興味のとっかかりがないのでは？
- ・子ども会に親が興味があれば知っているだろう。（親が興味なければ，知らない）
- ・子ども（乳幼児）がいると気軽に掛かけられない。
- ・近所はシニアが多い。挨拶，子どもを見てくれることもある（と聞いている）。それは有り難い。
- ・アンケートの集計期間が短い。
- ・子どもの占める割合はどうか？
- ・子ども会はみな未経験者？
- ・一緒にいるコミュニティ，子ども，高齢者，まずは顔を知ってることだけでも。
- ・学校の個人情報の中々出てこない。
- ・30代まで全く地域に興味なし。
- ・賃金が発生するもの，趣味等が優先される。でも地域は？優先されない？
- ・祭りの準備など，明確な理由があると地域に参加できる。

#### ■その他

- ・情報，物の貸し借り，イベントのヘルプ。
- ・年に1回でもみんな（町会，半分行政の地域団体，若い保護者世代）が集まって，情報交換するのがスタート？
- ・こずっち会議の参加を募るのならポスターを作るべきだったのでは？

## こずっち会議（豊四季台）報告書

### B グループ



#### ■ 主な意見

##### 情報発信について

- ・情報の取捨選択は各々で、まず、情報が「来ない！」というのが問題。
- ・受動的に地域の人が情報を知れる仕組みがあると良い。
- ・開かれたイベントを意識している。
- ・地域のお祭りを同日にやるのはよくない。
- ・ふるさと協議会のホームページは見ない…。
- ・イベント情報は学校からの発信がしやすい。（回覧は遅い）
- ・ふるさと協議会と町会独自でやってる行事が把握できない。
- ・柏市からのメールで、イベント情報の発信ができてよい。
- ・スクールメールで、ふるさと協議会、町会のイベント周知ができれば。

##### 学校について

- ・新しく移り住んできた人が来る所は「学校」＝地域の拠点
- ・キーワード、「友達が来る」「皆であそぶ」
- ・最初のきっかけは学校がよい。
- ・学校を貸してもらうのに、先生に負担はそんなにかからない。
- ・学校のHPにふる協や町会のHPや情報をリンクさせる。
- ・学校が地域の拠点！
- ・世代間交流は無理に作るんじゃなくて、子供と親が来る所に地域の人も来ればできる。
- ・子供を呼ぶなら、主催が「どこ」より、「学校でやる」ということが大事！
- ・町会、ふる協のイベントをやるのに、準備をすれば学校を借りるのは可能。
- ・縦割りではなく、横割りのイメージが必要。
- ・子供を中心に考えなら、学校中心でやることが大事。
- ・場所が学校になるので、学校中心で団体が動くとよい。
- ・学校を核として行事をやる。そこに大人がのっかればもっといろいろな事ができる。
- ・年配の人は学校に行きづらい？→地域は求めているけど…
- ・学校は信頼のある場所。

##### 横のつながりについて

- ・やる人は一緒。違うのは市の職員だけ…

- ・住民は一緒なのに，地域支援課，生涯学習など，いろいろなところから話が別で来る。
- ・地域と知り合えるのは楽しい！どんどん楽しくなってくる
- ・「協議会」の名前がかたい。(難しいイメージ)
- ・高柳まつりは，すごくウェルカムで，子供から大人までお手伝いをしていて良かった。
- ・子供は知っている人，知っている場所でないと行きたがらない。
- ・学区が変更になって，地域の人が変わらなくなる中で，地域につながる会に参加するのは面白い。
- ・町会長にもだんだんと理解してもらえるようになってきた。
- ・町会，自治会に入っていないとイベントの連絡が来ない。
- ・地域の子どもたちが小さいころからお祭りに関わっている。自分たちのお祭りという意識がある。
- ・子供が来るところに親が来る。
- ・子供達は主催がどの団体とかは関係ない。
- ・町会，ふるさと協議会，青少協の枠を超えてやるのが大事。
- ・町会だけでできないことをやるのが，ふるさと協議会。
- ・地域に協力してもらうのは，お願いをしても集まらない→こちらから参加するような意識。
- ・何を目的にするかで人を集めるのが大事。
- ・入ってくるものは拒まない意識が大事。
- ・町会で一緒にお祭りをやるなどの工夫ができればよい。
- ・垣根をなくすことが必要。
- ・学区の枠を超えたつながりが大事。
- ・大人の理由で，人が集まらないから中止にしようかという話があった。  
(子供のことは考えていない)
- ・子供のためというなら，子供目線でやってほしい。
- ・地域によって特徴があるので，それを活かす。

#### その他

- ・近隣センターが何をやっているところなのかわかりにくい。
- ・近隣センターのイメージが，高齢者が行くところ…
- ・避難所がわからない。

## こずっち会議（豊四季台）報告書

### Cグループ

#### ■ 主な意見

##### ふるさと協議会について

- ・ どうやってふるさと協議会を知るか。
- ・ 知らなくても生活には困らない？
- ・ なかなか班長より上になることがない。
- ・ 子供の頃から柏に住んでいるが、ふるさと協議会は知らなかった。
- ・ 班長をやると町会のことを理解できる。
- ・ 町会役員がどうやって選ばれているのか？



##### 子どもについて

- ・ 「子供」といっても幅広い。
- ・ 我が子は子供会に入れる？
- ・ 近くに子供が遊べる公園があって良い！
- ・ 児童センターに行ってきた。
- ・ 地域新聞はよく見る。
- ・ 子供のことなら自分事として考えられる。
- ・ 子供の見守りをしてくれるのはありがたい。
- ・ 保育園のパパ友とは交流がある。
- ・ 子供のコトから親同士がつながれることがある。
- ・ 顔が見えると安心感がある。

##### イベントについて

- ・ 地域祭りは中学校くらいまで？→大きいお祭りへ
- ・ D51祭りに行ってみたい。
- ・ 青少協と児童センターのイベントが重なってしまう…
- ・ イベントの日程調整をうまくやりたい。

当日の様子

